

待望の 極上動物質有機 サンリッチ

【有機農産物適用肥料】

6-4-2

サンリッチとは

最新の技術によってうずらの廃鳥や廃卵を原料とした、動物質有機100%のぼかしタイプの肥料です。（普通肥料登録取得）

サンリッチの特長と効果

1. 作物の色、艶を良くし、開花、着果、果実肥大の促進、食味あるいは日持ちの向上などに役立ち、より良品質なものが収穫できます。
それは、活性の強いアミノ酸、ビタミン、ミネラルなどの栄養素を多量に含有しているからです。
2. 土壌の緩衝能が増大し、適的な養分供給の源泉となります。
その力によって肥やけ、肥切等の障害をなくし、常に作物を順調に生育させます。
3. 連用することによって土壌の改善、土壌の生産力が保持されます。
微生物の繁殖を旺盛にし、土壌の通気性、保水性、透水性を高め、連作障害の防止に役立ち土壌を豊沃にします。

サンリッチの上手な使い方

- サンリッチは、魚肥と同じ様な肥効を示し、活性の強い有機質肥料ですので、は種や定植の10～20日前に施用し、土とよく混ぜて下さい。
- サンリッチは、化学肥料や複合肥料と併用すれば相乗されてより効果的です。
- サンリッチは、わら、落葉、野菜くずなどと一緒に積みば、優良な堆肥が短時間でできます。

特約店

施用ポイント

○うまい米づくりには

元肥に3～5袋、代かき前に土とよく混和して下さい。

○果樹成木園には

全園散布（軽く中耕して土とよく混ぜるのが理想）
常緑果樹は春肥重点、年間8～10袋
落葉果樹は秋肥重点、年間6～8袋

○そ菜のハウス栽培には

ハウス定植の10～20日前に反当5～10袋を全面施用し、土とよく混ぜて下さい。

○露地そ菜には

直接種子や苗に触れないよう、は種や苗定植の7～14日前に全面施用し、土とよく混ぜて下さい。

トンネル又はマルチの場合は、10～20日前に施用し、土になじませてから、は種や苗定植して下さい。

○茶樹園では

夏肥に6～8袋、秋肥に3～4袋、春肥に4～5袋

〈微量要素分析例〉

カルシウム	10.27%
苦土	0.93%
けい酸	0.76%
ほう酸	0.09%
鉄	0.19%
有機炭素	32.11%
亜鉛	280ppm
銅	28ppm
モリブデン	3ppm